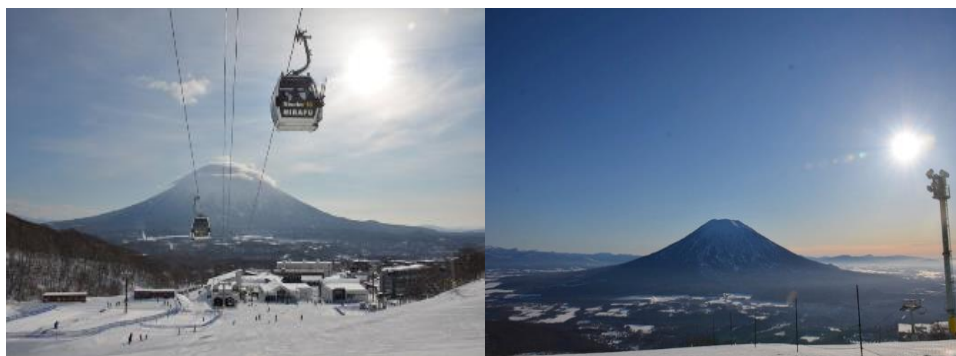


(2022)

安全報告書

ニセコ東急 グラン・ヒラフ

エースファミリークワッドリフト
エース第1ペアリフト
エース第2センターフォーリフト
エース第3ペアリフト
エース第4ペアリフト
キング第1ペアAリフト
キング第1ペアBリフト
キング第2クワッドリフト
キング第3クワッドリフト
キング第4リフト
ホルリデー第1ペアリフト
スインギングモンキーリフト
ヒラフゴンドラリフト



1. 利用者の皆様へ

日頃より、ニセコ東急 グラン・ヒラフをご利用頂き、また弊社索道事業に対しご理解を頂き誠に有難うございます。

弊社は、スキー事業理念において「お客様の安全確保」を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2021年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響には濃淡の波がありつつも、その対応に一定の落ち着きが出て経済の回復も一部に現れてきております。

今後につきましてもご来場をいただいたお客様のご理解とご協力を賜りながら、衛生管理を徹底し、気持ちよく過ごせる運営を実施してまいります。

また、施設整備をはじめとし、より一層の安全管理を徹底し、皆様が安心して楽しめる環境づくりを全社一丸となり実行していく所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。皆様からの声を更なる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

ニセコ東急リゾート株式会社

代表取締役

中村 賢

2. 安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 全社一丸となり輸送の安全の確保に努め、「安全を最優先」に行動します。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 3) 憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義がある時は最も安全な取扱いをします。
- 4) 事故・災害等が発生したときは、その状況を冷静に判断し、人命救助を最優先に行動し安全適切な処置をとります。
- 5) 輸送の安全に関する知識・技能向上に努め、常に問題意識を持ち継続的な改善を図ります。

3. 索道運転事故発生状況

1) 索道運転事故

2021年度は、国土交通省への搬器衝突事故1件と人身傷害事故1件報告致しました。

【事故の概要】

搬器衝突事故：山頂停留場にて乗客が降車の際に搬器を手で引っ張った状態で滑走し、途中で手を離れたため搬器に大きな横揺れが発生した。係員が非常停止を行ったが間に合わず搬器振止めガイドレールに衝突した。

人身傷害事故：リフト線路中で乗客(子供)が搬器から落下して負傷しました。山麓停留場では当該乗客が乗車する際に係員が乗車が完了したことを確認しておりましたが、線路中で何らかの理由により降り落ちて負傷した。

このような事象を受けて全索道係員に対し注意喚起・監視強化・危険を発見したときは早期に非常停止を行うよう周知いたしました。また、旅客に対しての注意事項や案内の充実を図っております。

2) 災害(地震・暴風・豪雪など)

2021年度は、災害による運行停止はありません。尚、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。

3) インシデント(事故の前兆)

2021年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

4. 安全確保のための取組

1) 安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2021年度の主要整備実施項目

【エースゲレンデ側リフト】OH⇔オーバーホール

エースファミリークワッドリフト	通常整備
エース第1ペアリフト	通常整備
エース第2センターフォーリフト	通常整備、握索機解体整備(51台)、常用制動機ユニットOH
エース第3ペアリフト	通常整備
エース第4ペアリフト	通常整備

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

【キングゲレンデ側リフト】OH⇔オーバーホール

キング第1A線ペアリフト	通常整備
キング第1B線ペアリフト	通常整備
ホリデー第1ペアリフト	通常整備、油圧緊張シリンダー更新、索条更新
スインギングモンキーリフト	通常整備、油圧緊張シリンダー更新、索条切詰
キング第2クワッドリフト	休止中
キング第3クワッドリフト	通常整備
キング第4リフト	通常整備
ヒラフゴンドラリフト	通常整備、山頂建屋修繕工事、握索機解体整備(52台)

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2022年度の主要整備計画項目

【エースゲレンデ側リフト】OH⇔オーバーホール

エースファミリークワッドリフト	通常整備
エース第1ペアリフト	通常整備
エース第2センターフォーリフト	通常整備、握索機解体整備(20台)
エース第3ペアリフト	通常整備
エース第4ペアリフト	通常整備

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

【キングゲレンデ側リフト】OH⇔オーバーホール

キング第1A線ペアリフト	通常整備
キング第1B線ペアリフト	通常整備
ホリデー第1ペアリフト	通常整備、索条切詰、制動機ユニットOH
スインギングモンキーリフト	通常整備、制動機ユニットOH
キング第2クワッドリフト	休止中
キング第3クワッドリフト	通常整備、握索機OH(96台)
キング第4リフト	通常整備
ヒラフゴンドラリフト	通常整備

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2) 人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中について、社員または経験者の指導による施設の仕様、リフト運行取扱についての安全教育を実施しています。また、社内の勉強会、研修により技術力向上に取り組んでおります。

* 冬期勤務前研修（実施日12月1日～1月2日 計6回、参加者54名）

* 北海道索道協会主催の研修会（実施日6月10日 参加者2名）

* 東急グループ技術管理員研修会 Web開催（実施日10月29日、動画マニュアル発表 参加者1名）

【社長訓示】※Web開催



【投雪機取扱研修】



【研修受講写真】



【スノーモビル取扱研修】



3) 訓練

毎年スキーシーズン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

救助訓練実施状況

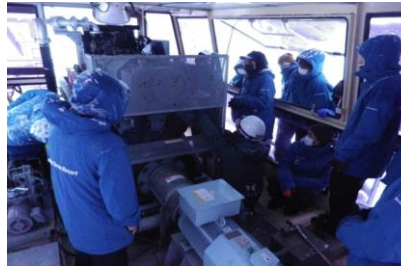
* 冬季救助訓練 (実施日12月1日～1月1日 計5回 参加者65名)

* ゴンドラ索道救助訓練 (実施日12月9日 参加者 索道係員22名 パトロール隊員6名 倶知安消防署3名)

【冬季ゴンドラ救助訓練】



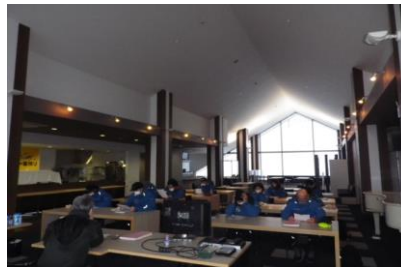
【予備原動機切替訓練】



【冬季シーズン前救助訓練】



【冬季 座学研修】



4) 安全向上への積極的な取組

* 監視カメラの設置

利用者の安全確保のため基幹リフトの乗り場または降り場に監視カメラを設置しています。

* 気象情報の収集

外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。

* 接客マナーの向上

索道業務マニュアルの細部を見直し業界No.1の接客を目指します。

* 滑走時のヘルメット着用の啓発

お客様へのヘルメット着用の推奨とスタッフの着用を徹底しています。

5) 新型コロナウイルス感染症への対策

当社では、専門家の監修のもと政府ガイドラインや自治体の方針に沿い100項目以上の感染予防対策を実施し、お客様に安心してご利用いただく環境を提供しており、主な実施項目は次の通りです。

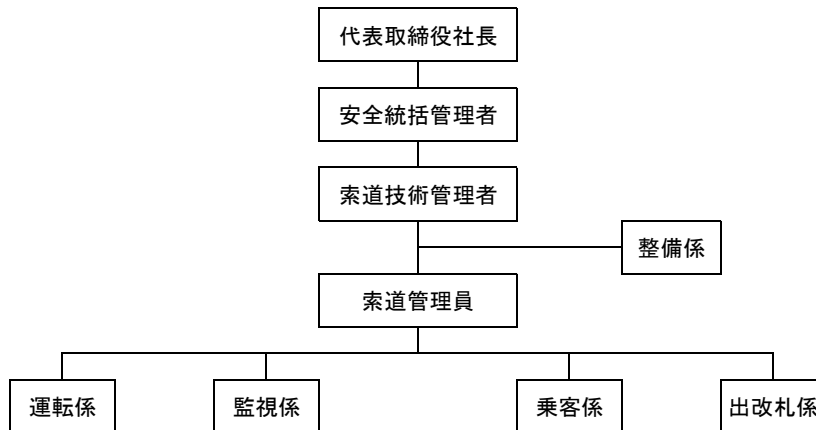
- *乗車に際しマスク着用やソーシャルディスタンスの確保等による3密回避
- *施設の備品やお客様が触れる箇所等の消毒を定期的実施
- *出改札での飛沫防止やキャッシュレス等の非接触化を推進
- *従業員における衛生管理の徹底

5. 安全管理体制図

2021年2月1日の鉄道事業法施行規則の一部改正に伴い、2021年2月に「安全管理規程」を改正し、社長をトップとする安全管理体制を構築しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【体制図】



6. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ努力してまいりました。これを踏まえ来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、さらなる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2021年度の安全報告書とさせていただきます。